

令和5年度 第2回函館市縄文遺跡群保存活用協議会

日 時 令和6年2月16日(金)
10:30~12:00

場 所 南茅部総合センター 2階
第2研修室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

教育委員会生涯学習部次長

3 出席者紹介

4 議 事

(1) 報告事項

① 令和5年度事業報告

- ・ 縄文遺跡群の保存活用
- ・ 縄文遺跡群の普及啓発

② 令和6年度事業計画

③ 世界遺産の保全にかかる遺産影響評価（令和5年度下半期）

(2) その他

5 閉 会

令和5年度 第2回函館市縄文遺跡群保存活用協議会
出席者名簿

(敬称略)

●函館市縄文遺跡群保存活用協議会委員

委員	竹内 正幸	道南縄文文化推進協議会 事務局長
委員	佐藤 安浩	一般財団法人道南歴史文化振興財団 事務局長
委員	田名部 忠勝	函館市南かやべ縄文文化創生の会 事務局長
委員	大宮 トシ子	北の縄文CLUB 会長
委員	酒井 康次	函館商工会議所 専務理事 【欠席】
委員	三浦 孝史	一般社団法人函館国際観光コンベンション協会 事務局長
委員	田中 佳丈	函館市小学校長会 南茅部小学校 校長
委員	山口 哲也	函館市中学校長会 南茅部中学校 校長
委員	伊勢 一哉	北海道南茅部高等学校 校長
委員	熊谷 儀一	南茅部町内会連絡協議会 会長
委員	中本 邦雄	白尻町内会 会長
委員	佐々木 孝比古	大船町内会 会長

教育委員会	宮田 至	生涯学習部次長
	木村 元子	生涯学習部文化財課長
	野村 祐一	生涯学習部文化財課 主査
	吉田 力	生涯学習部文化財課 主査
	加藤 歩	生涯学習部文化財課 主任主事
	小塚 陽介	生涯学習部文化財課 主事
南茅部支所	外山 覚	南茅部支所地域振興課長
	長谷山 裕一	南茅部支所産業建設課長
観光部	井本 剛志	観光部観光企画課長

〔資料 1〕 令和 5 年度 事業報告

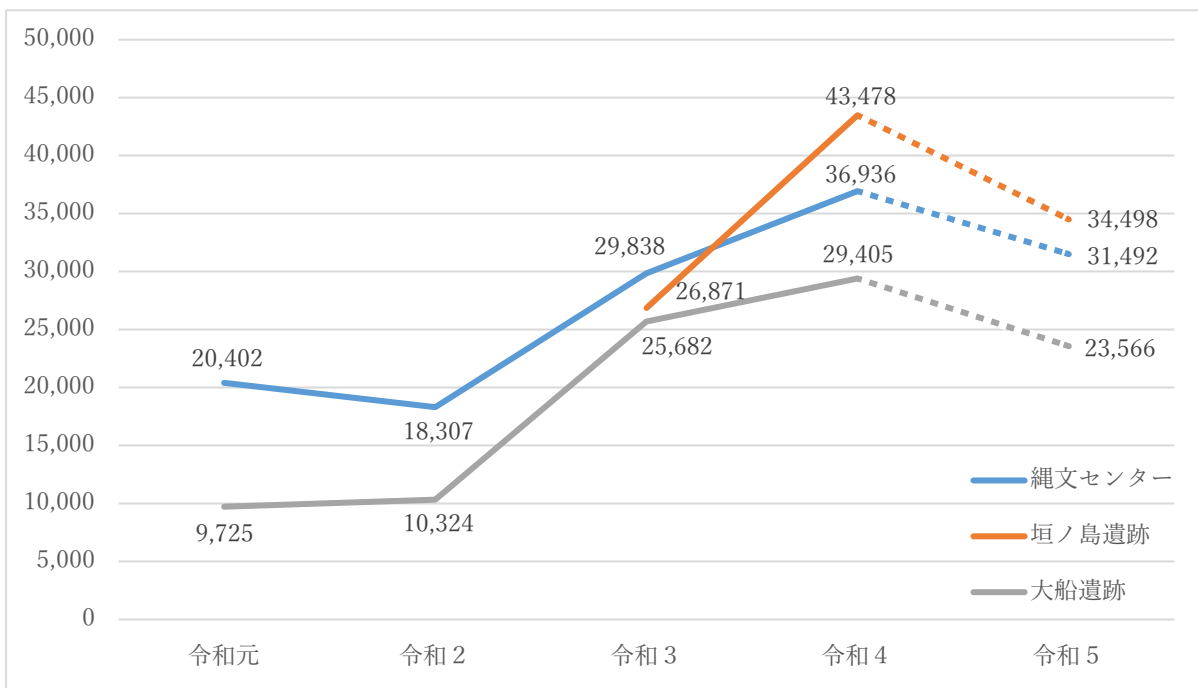
1 縄文遺跡群の保存活用

ア 縄文遺跡群への来訪者推移

縄文関連施設来訪者数

(単位：人)

	令和元年度 2019	令和 2 年度 2020	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022	令和 5 年度 2023
縄文センター	20,402	18,307	29,838	36,936	29,853
垣ノ島遺跡	—	—	26,871	43,478	32,780
大船遺跡	9,725	10,324	25,682	29,405	22,407
備 考			R3.7 世界遺産登録 垣ノ島遺跡公開		～R6.1月末



※ 令和 5 年度は、2 月・3 月が前年同様の来訪者数とした場合の想定人数

イ 受入体制整備

1) 垣ノ島遺跡案内窓口施設建設

案内ガイド受付、タブレット貸出窓口

令和 6 年 1 月末 運用開始



2 縄文遺跡群の普及啓発

ア 普及啓発活動

1) 郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」【主催】

市立小学校3年生児童 約1,500人

11月末までに全校が実施済み

2) 教育旅行説明会・相談会【参加】

12/5～12/8 東京・横浜・名古屋・大阪

主催：公益社団法人北海道観光推進機構

○各地の学校・旅行会社へ縄文世界遺産への修学旅行を誘致



3) JOMON FESTIVAL 2024 縄文雪まつり ～ 縄文 LOVE 大集合！～ 【共催】

2/3-2/4 札幌地下歩行空間 チ・カ・ホ 北3条交差点広場西

主催：北の縄文道民会議

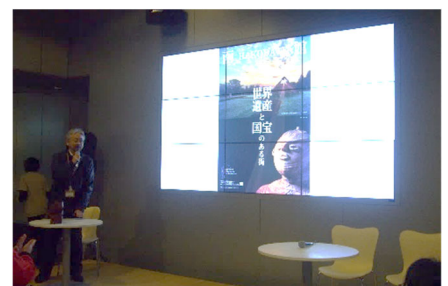
○PRブース出展：パンフレット配布，動画放映，

縄文スイーツ販売（函館スイーツ推進協議会）

○フリートーク：世界遺産と国宝のある街 函館



函館市PRブース



フリートーク

- 4) 垣ノ島遺跡デジタルコンテンツ紹介動画の配信
南茅部高校生徒による紹介動画〔3:29〕を
函館市公式動画チャンネル (Youtube) にアップ

<https://www.youtube.com/watch?v=82HNoueXyEc>



イ 他団体事業への協力

1) 縄文遺跡群世界遺産本部

a) 世界遺産大阪フォーラム 【参加】

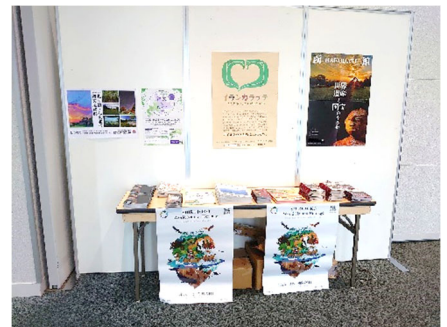
11/23 堺市産業振興センター

百舌鳥・古市古墳群・登録4周年 & 縄文遺跡群・登録2周年

○函館市のPRブースを出展 (北海道と共用)



フォーラム



北海道・函館市PRブース

b) 世界遺産東京フォーラム 【参加】

1/28 有楽町朝日ホール

垣ノ島遺跡を紹介する講演 (道縄文室)

○函館市のPRブースを出展 (千歳市・伊達市と共用)

別添：新聞記事参照



フォーラム



北海道市町村PRブース

2) 北海道・縄文世界遺産推進室

a) 北の縄文展 2023 in 北斗市 【出品】

12/1～3/16 北斗市郷土資料館

北海道博物館「北の縄文世界と国宝」展の地方縮小版

○大船遺跡・垣ノ島遺跡出土品を出品

別添：チラシ参照

b) 北の縄文カード「土偶－中空土偶－」【協力】

令和6年4月から配布開始予定



北斗市展示



北の縄文カード

3) 北海道・渡島総合振興局

a) 青函圏フォーラム×JOMONフォーラム【協力】

3/14 プレミアホテル CABIN PRESIDENT 函館

別添：チラシ参照

b) 縄文エリアアクセスMAP【協力】

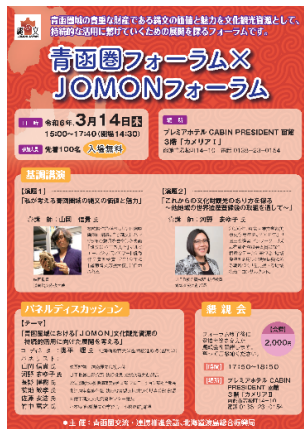
交通拠点から南茅部エリアへの交通アクセス地図

多言語対応（日本語・英語・繁体字・簡体字・韓国語の5ヶ国語）

各ゲートウェイ（交通拠点）に掲示

函館駅・新函館北斗駅・函館空港・フェリーターミナル・クルーズターミナル

アクセスMAPパンフレットの配布（市内ホテル等）



青函圏フォーラム×JOMONフォーラム



縄文エリアアクセスMAP

4) 北海道教育庁文化財・博物館課

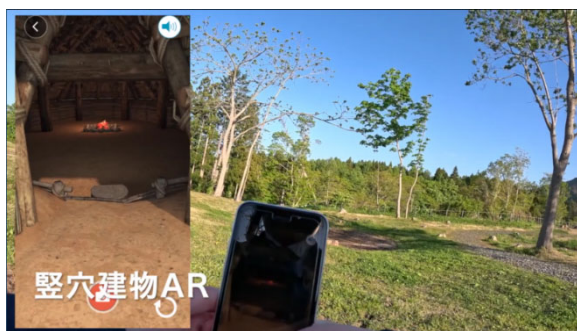
a) 縄文世界遺産子どもサミット

2/1 web 会議

発表校：南茅部高校

発表内容：垣ノ島遺跡デジタルコンテンツ紹介動画

渡島フロンティア人材育成事業成果



垣ノ島遺跡デジタルコンテンツ紹介動画



青森南高校の生徒との交流

5) 北海道教育庁渡島教育局

a) 渡島フロンティア人材育成事業

2/19 web 発表会

協力校：南茅部小学校・南茅部中学校・南茅部高校

6) その他団体

a) 縄文DOHNANプロジェクト

3/20 縄文かるた大会 函館蔦屋書店

別添：新聞記事参照

b) ナチュの森で縄文にであう展【協力】

3/15-9/30 ナチュの森（白老町）

別添：チラシ参照



〔資料 2〕 令和 6 年度 事業計画

1 縄文遺跡群保存活用関係経費

43,899千円

ア 大船遺跡・垣ノ島遺跡管理経費

〔共用時間〕 4月～10月 午前9時～午後5時 11月～3月 午前9時～午後4時

〔業務内容〕 案内・解説，発掘体験指導，集計，清掃，監視・保安，環境整備，

垣ノ島遺跡デジタルコンテンツ運用，タブレット貸出 ほか

（定時解説）垣ノ島遺跡：1日3回，大船遺跡：1日2回

（発掘体験）垣ノ島遺跡：1日2回

※ 定時解説，発掘体験ともに4月～10月に実施

〔その他〕 施設維持管理，縄文世界遺産紹介フライヤー作成等

イ 受入体制整備

1) 臨時駐車場の確保

第1臨時駐車場（東海団地用地），第2臨時駐車場（スポーツセンター駐車場）

2) 交通誘導員の配置

3) 臨時駐車場シャトルバス運行

4月～11月のうち混雑日8日間 臨時駐車場 ⇄ 縄文文化交流センター

ウ その他

1) 函館市縄文遺跡群保存活用協議会の開催 2回

2) 縄文遺跡群世界遺産本部関係会議への出席

本部会議（青森市），専門家委員会（札幌市，青森市），世界遺産協議会（札幌市）等

2 縄文遺跡群世界遺産普及啓発関係経費

1,000千円

ア 世界遺産登録3周年記念事業

1) (仮) JOMON WEEK 2024 の実施

〔事業主体〕 北海道渡島総合振興局・道南縄文文化推進協議会・北海道新聞函館支社
・函館市教育委員会の4者による共催事業

〔実施時期〕 夏～秋開催予定

〔事業内容〕

・DOKI! DOKI! JOMON EXPO

トークショー，各種ワークショップ，パネル展示等

・第7回 道新縄文絵画コンクール

渡島・檜山管内の小中学生が応募した縄文絵画のコンクール

2) (仮) はこだて縄文まつり 2024

〔主催〕 南茅部縄文まつり実行委員会

〔共催〕 函館市教育委員会

〔会場〕 垣ノ島遺跡

〔実施時期〕 秋開催予定

3) その他縄文関連イベントへの協力

資料展示・PRブースの出展

ノベルティグッズの作成・配布

イ 縄文遺跡誘導案内の整備

電柱掲示案内版

函館駅・函館空港 ～ 大船遺跡・垣ノ島遺跡における電柱掲示案内板設置

ウ 縄文世界遺産拠点施設の誘致

縄文世界遺産拠点施設の函館誘致の推進

北海道との協議

先進地調査（富士山・石見銀山）

3 史跡大船遺跡整備事業費

9, 400千円

保存活用計画の策定

保存活用計画検討委員会の開催

4 縄文文化交流センター管理委託料

48, 457千円

〔指定管理者〕 一般財団法人道南歴史文化振興財団

〔指定管理期間〕 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで（3年間）

〔債務負担行為限度額〕 令和4年度 50,541,000円

令和5年度 48,457,000円

令和6年度 48,457,000円 3か年合計 147,455千円

5 縄文遺跡群世界遺産本部負担金

1, 351千円

ア 保存・活用推進事業

1) 縄文遺跡群世界遺産保存活用協議会の運営

〔構成団体〕 4道県および14市町 計18自治体

〔主な事業〕 ・会議の開催 本部会議1回, 協議会2回, 専門家委員会2回

・包括的保存管理計画等の運用, 包括的保存管理計画の改定

・デジタルアーカイブの運営

2) ガイダンス映像の制作

ガイダンス映像の多言語化

3) 来訪者動向調査

イ 誘客・集客促進事業

1) 国内フォーラム開催事業

北海道・青森県・秋田県，東京および中京圏で開催

2) 来訪・周遊促進事業

御朱印集め企画の実施

3) 総合情報発信事業

ホームページによる情報発信

パンフレット，ポスター，のぼり等の作成

6 郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」

4, 972 千円

市立小学校の児童が，大船遺跡や垣ノ島遺跡，縄文文化交流センターを見学し，身近にある世界遺産や国宝「中空土偶」について学ぶ「縄文文化に触れる学習」を実施

〔対 象〕市立小学校第3学年の児童および引率教員 約1,500人

〔事業費〕バス借上料 4,972 千円

7 南茅部地域世界遺産活用支援事業

9, 966 千円

南茅部支所

地域おこし協力隊制度を活用した南茅部地域活性化に向けた支援事業

地域おこし協力隊 2名

8 縄文文化通訳ガイド人材バンク運営事業

179 千円

観光部

インバウンド対応の際に必要な通訳案内士の養成講座を開催

〔対 象〕縄文文化通訳ガイド人材バンク登録者（31名）を含む市内在住の希望者
約10名

〔内 容〕通訳案内士を目指すための講座開催（2日間）

〔資料3〕世界遺産の保全に係る遺産影響評価（令和5年度下半期）

1 遺産影響評価

1 遺産影響評価の趣旨

構成資産内及び緩衝地帯を含む周辺地域において計画されている事業等（以下「開発行為等」）が、世界遺産の価値に与える影響の可能性を事前に評価することにより、資産保全と事業実施の合意形成を目指すもの。

※世界遺産条約に基づき、ユネスコは遺産影響評価の実施を締約国に求めています。

2 遺産影響評価の方法

構成資産を所管する自治体が開発行為等の事業内容を把握し、世界遺産の価値に負の影響が想定される場合には詳細分析を実施する。また必要に応じて、開発事業者と開発の中止・変更等の保全に向けた調整・要請等を行う。

3 函館市縄文遺跡群保存活用協議会の役割

函館市教育委員会が把握した開発行為等について事前・事後の報告による情報共有を行い、世界遺産の価値の保全に向けての留意点を確認する。

2 遺産影響評価の実施状況

1 令和5年度下半期

垣ノ島遺跡の構成資産内で1件、緩衝地帯で3件、大船遺跡の緩衝地帯で1件の開発行為等を把握し、それぞれ遺産影響評価を実施した。

（別添「遺産影響評価実施概要」のとおり）

事業名	遺跡	事業地	評価
① 飲食店建設	垣ノ島遺跡	緩衝地帯	⇒ 影響なし（レベル0）
② 「縄文の森」支障木伐採	大船遺跡	緩衝地帯	⇒ 影響なし（レベル1）
③ 案内窓口施設周辺舗装工事	垣ノ島遺跡	緩衝地帯	⇒ 影響なし（レベル0）
④ 階段舗装工事	垣ノ島遺跡	構成資産内	⇒ 影響なし（レベル1）
⑤ 階段および園路舗装工事	垣ノ島遺跡	緩衝地帯	⇒ 影響なし（レベル1）

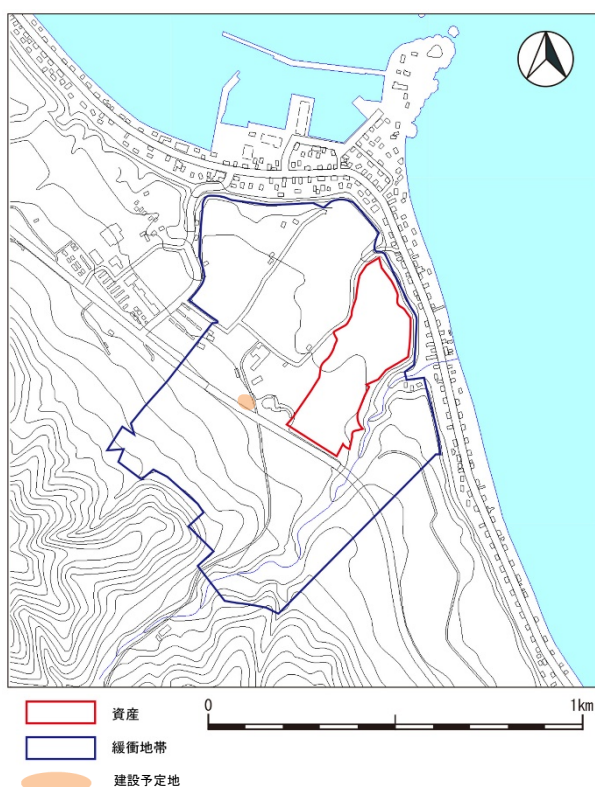
遺産影響評価実施概要

1. 事業概要

近接する構成資産	垣ノ島遺跡
事業（工事）名称	飲食店建設
事業地	函館市臼尻町554-2（緩衝地帯）
事業期間	工事期間 令和5年12月15日着工 / 令和6年3月31日完了（予定）
事業内容	垣ノ島遺跡緩衝地帯において、軽量鉄骨造の飲食店を建設する。

2. 遺産影響評価

構成資産からの眺望	構成資産範囲内から見えない
世界遺産の価値への影響	影響なし（レベル0）
詳細分析の要否	不要
評価理由	建設予定地は、過去の建物建設時に、隣接するバイパスの舗装面に合わせて高さ1.5m程度の盛土造成がされているため、地下遺構への影響はほぼ皆無である。また建物は、周辺の景観を阻害しない必要最低限の高さとしているほか、周辺と調和する意匠・色彩とするなど、最大限考慮している。
その他	工事の際には函館市教育委員会文化財課職員が立会する。
評価実施日	令和5年11月13日



建設予定地

遺産影響評価実施概要

1. 事業概要

近接する構成資産	大船遺跡
事業（工事）名称	「縄文の森」 支障木伐採
事業地	函館市大船町564-3, 576-1外（緩衝地帯）
事業期間	工事期間 令和6年3月1日着工 / 令和6年3月31日完了（予定）
事業内容	大船遺跡の「縄文の森」エリアにおいて、カラマツやスギなどの針葉樹を中心に、縄文時代の景観にふさわしくない樹木（支障木）を約60本伐採する。

2. 遺産影響評価

構成資産からの眺望	構成資産範囲内から見える
世界遺産の価値への影響	影響なし（レベル1）
詳細分析の要否	不要
評価理由	縄文時代の景観にふさわしくない針葉樹等を伐採することにより、資産内ならびに視点場からの景観の改善に寄与するものである。また、地際から10～15cmの位置で伐採し、伐根は行わないことから、地下遺構への影響はほぼ皆無であると考えられる。
その他	伐採の際には函館市教育委員会文化財課職員が立会する。
評価実施日	令和5年12月22日



伐採予定地

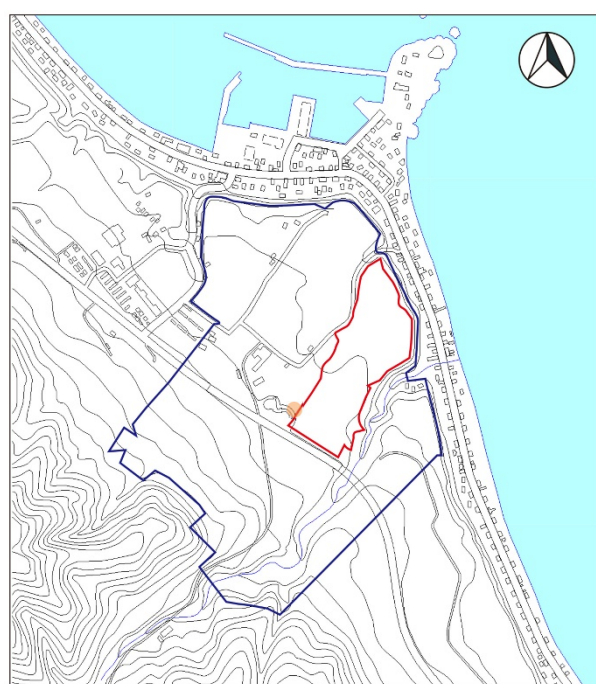
遺産影響評価実施概要

1. 事業概要

近接する構成資産	垣ノ島遺跡
事業（工事）名称	案内窓口施設周辺舗装工事
事業地	函館市臼尻町551-1, 551-2（緩衝地帯）
事業期間	工事期間 令和6年3月1日着工 / 令和6年3月31日完了（予定）
事業内容	入口ゲートから展望デッキ間に整備した案内窓口施設周辺の砂利敷地の範囲を、隣接する園路と同じ赤茶色のカラーアスファルトで舗装する。

2. 遺産影響評価

構成資産からの眺望	構成資産範囲内から見えない
世界遺産の価値への影響	影響なし（レベル0）
詳細分析の要否	不要
評価理由	施工予定区域は過去に盛土造成した箇所であるため、本工事における機械および人力での掘削による地下遺構への影響はほぼ皆無である。また、隣接する既存の園路と同じ赤茶色のカラーアスファルトを採用することにより、周囲の景観と調和するよう、考慮している。
その他	工事の際には函館市教育委員会文化財課職員が立会する。
評価実施日	令和6年1月31日



施工予定地

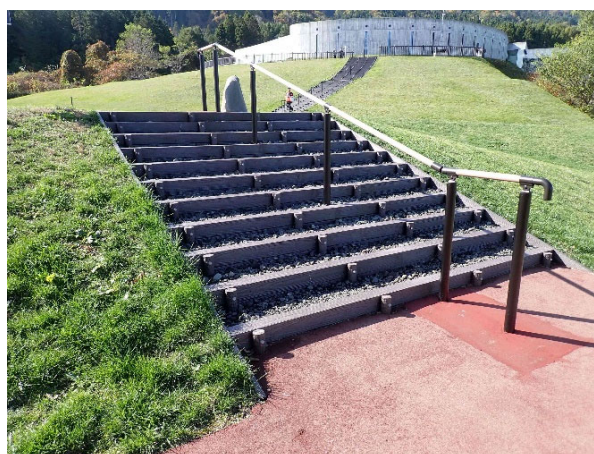
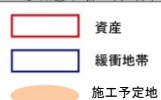
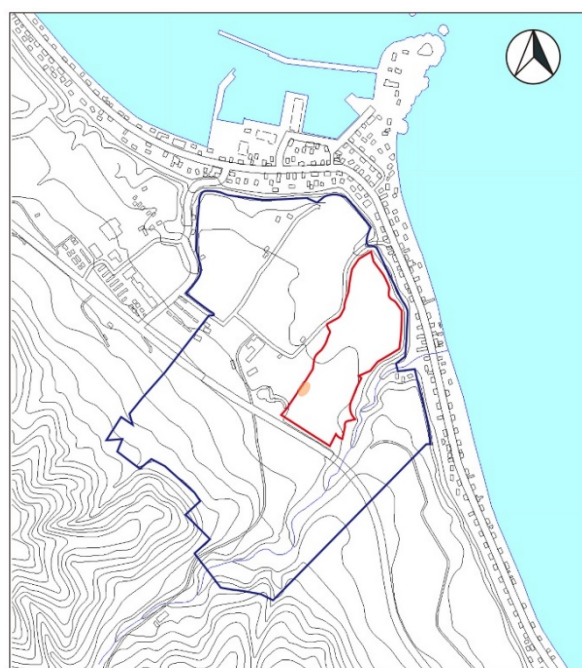
遺産影響評価実施概要

1. 事業概要

近接する構成資産	垣ノ島遺跡
事業（工事）名称	階段舗装工事
事業地	函館市臼尻町533, 552, 779（構成資産内）
事業期間	工事期間 令和6年3月1日着工 / 令和6年3月31日完了（予定）
事業内容	史跡垣ノ島遺跡のエントランス広場から芝生広場沿いの園路に繋がる階段の、砂利敷きとなっている踏面を、黒色の細粒度アスファルトで舗装する。

2. 遺産影響評価

構成資産からの眺望	構成資産範囲内から見える
世界遺産の価値への影響	影響なし（レベル1）
詳細分析の要否	不要
評価理由	切込砂利を敷き詰めた踏面を転圧し、上から細粒度アスファルトで舗装するため、地下遺構への影響は皆無である。また、既存の階段と同じ黒色の細粒度アスファルトを採用することにより、周囲の景観と調和するよう、考慮している。
その他	工事の際には函館市教育委員会文化財課職員が立会する。
評価実施日	令和6年1月31日



施工予定地

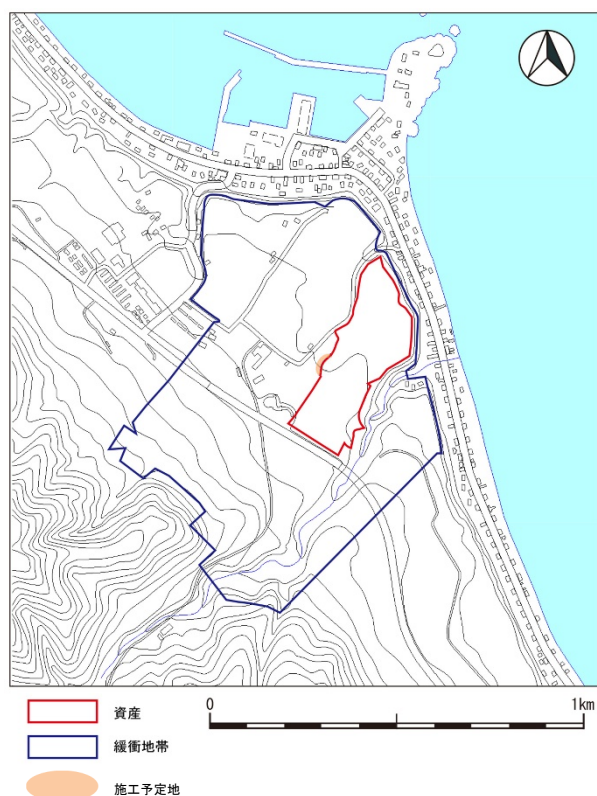
遺産影響評価実施概要

1. 事業概要

近接する構成資産	垣ノ島遺跡
事業（工事）名称	階段および園路舗装工事
事業地	函館市臼尻町434-4, 434-5（緩衝地帯）
事業期間	工事期間 令和6年3月1日着工 / 令和6年3月31日完了（予定）
事業内容	史跡垣ノ島遺跡の体験広場から管理棟まで続く階段2箇所および園路の砂利敷地となっている範囲を、黒色の細粒度アスファルトで舗装する。

2. 遺産影響評価

構成資産からの眺望	構成資産範囲内から見える
世界遺産の価値への影響	影響なし（レベル1）
詳細分析の要否	不要
評価理由	切込砂利が敷き詰められている範囲を転圧し、上から細粒度アスファルトで舗装するため、地下遺構への影響は皆無である。また、既存の階段および園路と同じ黒色の細粒度アスファルトを採用することにより、周囲の景観と調和するよう、考慮している。
その他	工事の際には函館市教育委員会文化財課職員が立会する。
評価実施日	令和6年1月31日



施工予定地